

# 進路探求 夢を持つのが大事

■市教委が高1対象にセミナー

札幌市教委は7、8の両日、札幌市中央区のわくわくホリデーホール(札幌市民ホール)で、市立高の1年生を対象にした「進路探求セミナー」を開いた。2日間で約2300人が参加し、自身の将来について考えた。

高校入学を機に、将来の目標について意識を高めてもらおうと、毎年この時期に開催している。

8日のセミナーでは、バナ

ナの茎などを原料にした名刺の製造・販売で知られる丸吉日新堂印刷(札幌)の阿部晋也社長が、夢を持つ大切さをテーマに講演。高校生に「すべては夢から始まる。目標ができれば、人に会って話を聞くことが成功への近道。失敗を恐れず挑戦しよう」と伝えた。

その後、旭丘、平岸、清田、大通の各校の生徒代表が舞台に上がり、それぞれの将来の

夢を発表。清田高1年の立野歩佳さんは「女子野球の選手になりたい」、大通高1年の竹中美紀さんは「ロシア語の通訳になりたい」と話し、会場の生徒たちから大きな拍手が送られた。(鹿内朗代)



進路探求セミナーで、将来の夢を語る高校1年生

ハメモV札幌市中央区大通  
13。開館は午前9時〜午後  
時。月曜休館(祝日の場合  
は火曜休館)。入館無料。S  
AFプロジェクトルームは  
イベント時のみ開放する。☎  
011・251・0731

